ユーラシアンクラブ創設の第三期(2008年~2013年まで)ユーラシアンクラブ日本人クラブから脱皮 愛川サライの活動充実(地域拠点型へ移行)、本部を日本橋に移転し、江藤セデカ、バーボルド体制移行

2008月

4月 ユーラシアンフォーラムスタート「シリーズ・モンゴル」「シリーズ・アフガニスタン」「シルクロードの音楽と暮らし」など

その後「モンゴル語講座」「ダリー語講座」

愛川サライで「モンゴル文化ナーダム」 5月

愛川サライで「シルクロードの音楽と暮らし」 7月

シカチアリャン村青年研修等で事前調査―北海道美幌町を原チャリで訪問

- 8月 愛川サライで「ネパール・チョウタリバンドがやってきた」
- アンコールワット拓本保存会がシカチアリャンで岩絵拓本採取
- 11月 愛川サライで、インド・シタールを聞く会

神奈川県立愛川ふれあいの村国際交流フェスティバル

2009年

- 1月 「加藤九祚シルクロードアカデミー」スタート
- ユーラシアンフォーラム・地域密着型活動・情報通信ネットワーク・運営委員会確認バーボルド副理事長新執行部を選出 2月
- 4月 愛川サライ総会・子ども未来プロジェクトなど確認

6月 アジアンクッキングレビュー

- 10月 モンゴル民謡衣裳芸術公演団「レインボープラザシルクロード交流会」
- 11月 神奈川県立愛川ふれあいの村紅葉祭「モンゴル文化ナーダム」
- 「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」発足 12月

愛川サライ年末餅つき交流会

※新宿の会議室で毎月、ダリー語教室、モンゴル語教室、「加藤九祚シルクロードアカデミー」

か実施された

※毎月発行のニュースレター124号となる

2010年

「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」教育長申し入れ 1月 「実行委員会」説明会開催

3月 ユーラシアンクラブ特別総会・新春交歓会 「日本人クラブ」から脱皮。

浦川治造,江藤セデカ,バーボルド,ジミートリー・オコネシニコフが理事に就任 本部を中央区日本橋室町1-11-5に移転

7-8月 サハ児童太鼓グループ「テティム」研修

8月4日愛川町文化会館で「アジア・シルクロード音楽フェスティバル - サハ太鼓祭」開催 8月30日 手まり学園で「シルクロード交流ワークショップ」

- 千葉県君津市カムイミンタラで国際アジアSUMOフェスティバル 10月
- 県立愛川ふれあいの村でモンゴル文化ナーダム 加藤九祚米寿の挑戦顕彰シンポジウム&フェスティバル。創作曲「アイルタム幻想」完成。

2011年

- 2月 愛川町菅原小学校、半原小学校、高峰小学校で鑑賞教室とワークショップ 小会議室閉鎖
- 3月 東日本巨大地震発生に伴い特別総会・新春交換会中止
- 4月 総会開催。南相馬市など被災地視察、ホール関係者と協議―原チャリで一睡もせず「二泊三日」
- 5月 愛川町町民活動応援事業申請(6月採択) まちづくりネットワーク中津川発足
- 南三陸町、東松島市で慰問コンサート、炊き出し実施(東京アイヌ協会、イーグル・アフガン復興協会と合同) 6月
- 7月 創作曲「2011年3月11日 絆」完成
- 8月 12日、愛川町文化会館でチャリティコンサート「アジア・シルクロード音楽フェスティバルー第2回中津川弁才天愛川町音楽祭」 28日、勤労祭にウィグル舞踊・音楽が参加。屋台販売初体験
- 千葉県君津市で「アジアSUMOフェスタ」協力 10月
- 11月 神奈川県立あいかわ公園で、「中津川モンゴルフェスティバル」主催。宮ケ瀬ダム周辺振興財団共 催。

愛川町観光協会後援。

愛川町半原小学校ふれあい祭で鑑賞教室とワークショップ

2012年

- 1月 宮城県を視察活動調整
- 愛川町中津小、田代小で音楽鑑賞教室 2月
- 3月 10日から4日まで、宮城県南三陸町、石巻市、牡鹿半島で東日本大震災一周忌慰問23人参加
- 4月 報告集会開催
- 6月 総会で新役員体制を選出、規約改正。江藤セデカ理事長、バーボルド副理事長。
- アルタイ自治共和国「日本アルタイ交流協会一金」エドワルド・バブラシェフ代表来日懇談 7月
- 中華人民共和国内モンゴル自治区東スニット旗民間代表団 8月
 - 第3回中津川弁財天愛川町音楽祭―アジア・シルクロード音楽フェスティバル 弁財天幻想 日本ウズベキスタン国交20周年記念音楽のシルクロードフェスティバル
- 住民提案型協働事業「水の里愛川―ホッとする空間『中津川水辺プロジェクト』」提案 10月 第2回中津川モンゴルフェスティバル開催 (実行委員長中島良一・両向区長) 11月
- 協働事業提案申請取り下げ 12月
- 2013年

9月

20周年記念の集いは4月28日、三越前レストランと決定 1月

水辺プロジェクトを県に申請

- 2月 町長懇談要望
 - ホッとベンチキット教室スタート
- 7日中津小、田代小でウルグン鑑賞教室 3月

30日、ラビンプラザで篠笛教室

(予定)

4月中津川水辺プロジェクトスタート

4月28日 ユーラシアンクラブ創設20周年の集い シカチアリャン村のビクトリア・ドンカン招待 8月テティム第2回招聘、「笛と太鼓のフェスティバル」開催

ユーラシアンクラブ創設の第三期の動向

- 会議室での活動からクラブ改革を議論
- 支部愛川サライの活動拡充 П
- Ш 本部移転の実現
- Ⅳ 役員体制の一新;日本人クラブから脱皮
- V 大野遼が理事長退任、

江藤セデカ理事長、

(今後の10年に向けて模索始まる) VI シカチアリャン展「300人の村の古代絵画

展」が2015年5月開催が決定













ユーラシアンクラブ会議室を活用したフォーラム (計画中含め7コース)

<ユーラシアンフォーラム・"シリース2009" >参加者募集中です

アジア・シルクロードの民族理解文化塾シリーズ 2009 年募集プログラム

会場:ユーラシアンクラブ会議室(定員10人)

時間:各講座別ご相談 会費:各講座別ご相談

※ フォーラム後スピーカー・演奏者と参加者の懇談会

※ 先着順(会場が狭いため、必ず事前にお申し込みください)

【申し込み】ファックスかメールでお願いします。Fax:046-285-4895 mail:paf02266@nifty.ne.jp 【全体の問合せ】090-3814-5322 (大野遼) か上記メールファックスでお願いします。

①コース 「モンゴル語教室中級編」			
実施日	内容	講師・演奏者	備考
毎週木曜日	モンゴル語の会話力向上を	デルゲルマー (モンゴル国	受講料10回45,000円
19:10-20:40	目指す	立大学講師)	問い合わせ
10 回単位で実施	*モンゴル語初級コース随	他にパー・ボルドー(和光	バーボルドー 電話:
	時募集中(2名~)	大学講師)	080-5062-7312

②コース 「ダリー語教室」			
実施日	内容	講師	備考
第一、 第三金曜日	アフガニスタン、タジキスタ	江藤セデカ (NPO イーグル・	受講料1ヶ月5,000円
19:00-21:00	ン、ウズベキスタンの一部で	アフガン協会理事長)	間い合せ
日曜日午後のコースも	も通用し、ペルシャ語とも理		電話: 03-5366-6451
検討中	解しあえるダリー語の実践		FAX: 03-5366-6452
	的講座		

③コース 「加藤九祚シルクロードアカデミー」			
実施日	内容	講師	備考
土曜日 15:00 から	加藤先生著作の「アイハヌ	加藤九祚(中央アジア研究	受講料1回1500円
ウズベキスタン・テル	ム」全8巻を教材にした本格	の第一人者・民博名誉教授)	(資料代・懇談費別)
メズ市のカラテバ調査	ぜミ		問い合わせ
帰国後実施			paf02266@nifty.ne.jp
			090-3814-5322(大野遼)

④コース 「ライハスロー馬頭琴レッスン教室」			
実施日	内容	講師	備考
1ヶ月2回。 平日の14:00から	自作曲はモンゴル馬頭琴教 則本での課題曲に採用され、 プロの演奏者もレッスンに 通うモンゴル馬頭琴の伝統 的技法をレッスンします	ライハスロー(中国で初の 馬頭琴の中国一級演奏家。 モンゴル国でも芸術勲章を 受章し、今年5月の世界馬 頭琴コンクールで特別奨励 賞を受賞。日本馬頭琴協会 理事長)	レッスン料1レッスン5,000 円(70分、4人以上) (参考/プロの馬頭琴奏者 の個人レッスン料は10,000 円) 間い合わせ paf02266@nifty.ne.jp 090-3814-5322(大野遼)

⑤コース 「空港から話せるロシア語会話」			
実施日	内容	講師	備考
4月4日~6月6日まで	ロシアの空港に着いて入国、	オコネシニコフ・ジミトリ	受講料: 一人1回2,000円
の土曜日	通関、ホテルへの移動、手続、	一(男)ロシア・サハ共和	問い合わせ

[| クラブ改革の議論と || 支部愛川サライの活動拡充]

大野遼はユーラシアンクラブ創設以来理事長を続けてきたが「大野クラブ」「日本人クラブ」など、マンネリ化を否めない状況にありました。砂漠に水を撒くような活動からの脱皮を目指し、まず大野の転居先(神奈川県愛川町)で支部愛川サライ「を立ち上げて活動を開始。これまでの活動を活かして「地域拠点型」の活動を始めました。この2年ほどは、支部の活動が本部の活動に影響を与えることが多く、特に愛川町文化会館での音楽祭、あいかわ公園での「中津川モンゴルフェスティバル」に集約され、「まちづくりネットワーク中津川」が二年前に発足し、地域連携型の活動に発展しつつある。その活動は下記のとおりである。

支部愛川サライは、「アジア・シルクロードの諸民族の文化に光を当て」「もって町民文化に寄与する」ため、アジア・シルクロードの文化理解と交流促進に役立つ事業を実施することを目的に、2006年度から活動を開始した。

2006年【5月】イランの音楽家やホーミー演奏者、ウィグルの音楽家を招き、竹林前のコンサートを開始したり、【7月】大地のフォーラム(アフガニスタン民族料理とDVD紹介、自然エネルギーについて)などに取り組んだ。

2007年度には、キルギスを中心とした本部の活動に精力的に取り組むと共に、愛川サライにもキルギスの音楽家を招き収穫祭などを行った。

2008年度には竹林や古民家、県立愛川ふれあいの村を利用して【5月】モンゴル文化ナーダム【7月】シルクロードの音楽と暮らし(ウィグル音楽)【8月】竹やぶにヒマラヤの風が吹いた(ネパール音楽)【11月】15日に収穫祭とシタールの演奏(インド音楽)【11月】16日に神奈川県立ふれあいの村国際交流に参加(ロッジー棟を利用したアフガニスタン、インド、ウィグル、モンゴル文化紹介)。

2009年度からは支部会員も広く募集、[5月]アジアンクッキング(アフガニスタン料理教室)[7月] 薬草の専門家を訪ね、招聘して懇談、用地の視察などを実施した[10月] "モンゴル民謡衣装芸術公演団歓迎" シルクロード交流会[11月]モンゴル文化ナーダム。ふれあいの村で相撲文化、映像文化、音楽文化、生活文化、食文化を一堂に会して紹介した[12月]モンゴル相撲力士が参加した餅つき交流を実施ーなど地域住民にアジア・シルクロードの文化普及と理解促進に努めた。

2010年度は、ロシア連邦サハ共和国から和太鼓の研修を希望する児童グループ16人を愛川町に招聘し、「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」とともに研修事業を実施したほか、「あいかわ町町民活動応援補助事業ステップアップ応援補助」の支援を得て、【8月1日】金子竜太郎和太鼓ワークショップ、【8月5日】愛川町文化会館 「アジア・シルクロード音楽フェスティバルーサハ太鼓祭」、【8月29日】手まり学園・シルクロード・ウィグル音楽交流ワークショップ、勤労祭参加、【11月14日】県立ふれあいの村紅葉祭に参加しモンゴル文化ナーダム開催。【2011年2月8日】愛川町小学校3校におけるワークショップ・鑑賞教室などに取り組み、2010年度の愛川サライの音楽・文化を紹介する活動には、勤労祭への参加を含め2010年度は約2000人の参加があった。

また2009年12月から2010年8月にかけて地元住民が中心となる「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」創設、立ち上げに協力した。2010年9月「実行委員会」は、半原地域の中津川河川敷の雑木伐採・清掃など流域の環境保護などを行う個人参加の「愛川町シルクロードクラブ」として衣替えし、活動することになり、愛川サライの文化のまちづくり事業とは差別化された。

2011年度は、3月11日宮城県沖で発生した大地震に、一年をとおして向き合い、現地を6度にわたり訪問し、炊出しや仲間のミュージシャンによる慰問の演奏、傾聴と整体ケアなどを呼びかけ実施した。また人事を超えた空前の自然災害を克服して生きる被災者に希望を与える創作曲「2011年3月11日 絆」を橋本岳人山に依頼し、8月11日第二回中津川弁才天愛川町音楽祭―アジア・シルクロード音楽フェスティバル」で初演披露し、震災から一年後の2012年3月11日宮城県南三陸町で演奏。3月10日~14日まで5日間の活動の記録を報告書としてまとめ支援していただいた皆さんに届けた。

音楽を通してアジアが見える子どもを育成する「アジアの未来を子どもに託すプロジェクト」は、「子ども」「伝統 の継承」「笛」をキーワードに取組み、愛川町の伝統芸能三増獅子舞を町民に広く知ってもらうため音楽祭のオープニ ングで出演を依頼するとともに、音楽祭に先立ち、三増獅子舞、夏祭りのお囃子、和太鼓演奏などに欠かせない横笛篠 笛と、日本の縦笛尺八の基本を学ぶ教室を開催し、その成果を披露する企画を実施。篠笛・尺八教室に25人、音楽祭に 300人の聴衆が参加した。11月6日にはあいかわ公園で宮ケ瀬ダム周辺振興財団や地域の諸団体と共催・協力し「中津川 モンゴルフェスティバル」を開催、中華人民共和国から代表団も来日し、モンゴル相撲力士16人のトーナメント、モン ゴル音楽、歌謡、ファッションショー、モンゴル料理、モンゴル考古学のセミナーなどを体験し、子ども相撲クラブの 児童も体験相撲に挑戦し、子供連れの親子の姿も見られた。また代表団は半原小学校の視察に際し、校庭で約200人の児 童と交流、馬頭琴の演奏や歌、モンゴル相撲を披露し、子どもたちに歓迎された。音楽フェスティバルや中津川モンゴ ルフェスティバルの催しでは、小中高の全児童生徒にチラシが手渡され、教室にポスターが掲示された。11月12日には 半原小学校のふれあい祭に参加、日本の篠笛の起源とされるネパールの横笛バンスリの天才パンチャラマ氏らが児童の 音楽授業のゲストティーチャーとして参加したり、全校児童生徒、父兄、教職員585人の前で演奏を披露し、音楽教室で のワークショップを実施した。2012年2月1日には、中津小、田代小でスーホの白い馬を朗読する生徒に馬頭琴の演奏を 披露し、モンゴルの暮らしや言葉、を紹介した。中津小で114人、田代小で77人の児童、父兄が鑑賞し、2011年度の「ア ジアの未来を子どもに託すプロジェクト」には子どもを中心に合計1700人以上が参加した。2011年にはまちづくりネッ トワーク中津川が誕生、地域の諸団体有志が連携してまちづくりに取り組む枠組みが生まれ、2012年、「水の里愛川 ホッとする空間『中津川水辺プロジェクト』」が稼働、神奈川県産材を活用したホッとベンチプログラムが動き出し た。8月には中津川弁財天愛川町音楽祭、11月には第2回中津川モンゴルフェスティバルが地元の半原行政区長会の後 援、中島良一両向区長を実行委員長として盛大に開催され、アフガニスタン、イランの学生等が競技に参加、1000人以 上が鑑賞した。地元のおやじバンド遊2バンド、愛川高校和太鼓部OBOG、日蓮宗第三部雅楽部等が歓迎演奏した。愛川 町の音楽のまちづくりを「笛と太鼓」に絞って、開催する方向が検討された。2013年には、サハ共和国から18人の児童 が再び愛川町で和太鼓の研修を実施することになった。10月6日には中津川モンゴルフェスティバルが、モンゴル・ ブフ・クラブ、モンゴル文化教育大学、ユーラシアンクラブの20周年事業として開催されることになった。

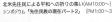
アジアSUMOフェスタ in カムイミンタラ (千葉県君津市)



「アルタイ日本文化センター金」 代表 エドヴァルド バスラシェフ



カムインミ・イチャルパ (PM050~150) フェスティバル (PM150~500) 民族芸能 (アタ 民族、北米先住民族、中近専等他) シンボジウム 「先住民族の現在アート」 (PM330~500) 北海道の海の幸と地元のとれたて野菜一杯の交流会 (PM500~700、参加実質)





知の政策等のり、安田自立() デアセス 米名音祭 (名服第 (名服第 (名服第) 東京・大阪学で会言祭に取り款 接点 (上籍地) 下回 高級(文組明長 (700 〜県 (京原第) 上地港時間 (市 を着ります。 その後、コミニティバンがそれらそのなぎ 豊 (110) 一上機助機 (115) ・参照の「バス等、から付い位大派書ます。 ラクテルな)とは他の様 (715)





クト

あ か 来 る者 0 た め に

ح

6

川山 ををを を 畑 用 を か が意してい 5 来 る者 0 た 8

っそ 5 県 をれ 愛 砥 ぞい あ 部 n 者 故町 自 ゆ たか 在住だっ 坂 村 分 ちら 真民さん 12 続 0 0 できる た VI 8 0

なみあ

可か

に鎮宮城

不可三の不可三陸

ン平

0

サ 成

1

橋 催

で開

2 لح

詩 コ町

が

紹介され

た三

月 本 岳れ 人た

民記念館

オー

愛媛

み我慢

そ を を

ぞ

0

力

を

傾

け

る

0

苦労

カン

5

来

る

0

た

8

つながったアジアの絆。動きはじめた時

NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ 代表大野遼 ●2011年4月8日深夜、今思えば、ストロンチウムやセシウムが降 り注ぐ被災地を原チャリで一人走っていた。南相馬市の海岸で目 の前に広がる圧倒的な自然の威力に立ちすくみ呆然としていた。 愛する家族も家も会社も飲み込んだ津波。海岸から幅4,5キロ、 延長500㌔にわたって続く言葉にならない現実。それでも人は海と 寄り添っていかねばならない。日々の暮らしに追われていても、 向き合っていかなければいけないことがある。このままでいいの かと自問自答することが必要な時代だと思う。私にできることは 何か。音楽を通してアジア知って欲しいと福島や宮城でも開催し た「アジア・シルクロード音楽フェスティバル」。私が信じるア

ジアの音楽の可能性にかけることにした。 ●6月22日、宮城県大河原町・えずこホールの水戸雅彦所長の紹介 で南三陸町、東松島市を訪ね、慰問コンサートと炊き出しを行っ

たまたま訪れた南三陸町で、音楽による支援の絆がつながっ た。尺八界の最高峰で活躍する橋本岳人山は35年前、愛媛大学の 学生の頃、海洋学(津波)の調査で南三陸町に通っていたのだ

「高き住居は児孫に和楽 想え惨禍の大津波 此処より下に家を 建てるな」

信じがたい高さの場所で見た津波警鐘の碑。 いをさせないためにも、今、思い切って高台居住をみんなの力で 実現したい」という岳人山。

私は、海に向き合う鎮魂と希望の曲「2011年3月11日 絆」の作 曲を岳人山にお願いした。そして実現した8月12日「第2回中津川 弁才天愛川町音楽祭アジア・シルクロード音楽フェスティバル」 での日本とアジアの最高のミュージシャンによる初演。曲に多く の聴衆が泣いた。

そして一年がかりで3月11日南三陸町で実現した「鎮魂と希望の コンサート」。長い急階段をゆっくりと歩み、平成の森アリーナ の聴衆となった60人のお年寄りが穏やかな表情で聴いてくれた。 そして笑顔で帰えられた。2時46分で止まったままの時が動きはじ めたと信じたい。

- ●ユーラシアンクラブの仲間大谷龍雄、石巻日々新聞社の近江弘 、名古屋から石巻へ移住し支援を続ける後藤文吾・夫紀子夫 被災した記録を取り続ける写真家阿部美津夫各氏ら多くの方 の協力で、南三陸町、石巻市、牡鹿半島の仮設団地11か所でのミ ニコンサートを実施。アフガニスタン再生を支援する江藤セデカ さんからの激励、循環する自然との共生を訴えるアイヌ浦川治造 さんによる鎮魂のカムイノミ、宮崎県門川町から裏方を支えた河 野真一さんからお茶とシルクロードグリーンレーズン (株) から ウィグル・トルファンの高級干しブドウの提供、体調を崩した被 災者に喜ばれた真矢修弘氏の整体ケアや炊き出し等が行われた。
- ●この報告書は、アイヌ、アフガン、ネパール、ウィグル、モン フィリピンそしてユーラシアンクラブのミュージシャンや ボランティアの仲間23人が多くの協力者・団体との絆で力を合わ せて被災者に寄り添った記録です。ご寄附や支援をいただいた多 くの方に感謝申し上げます。



2012年3月14日午前9時 新宿駅西口集合出発

3月11日 南三陸町平成の森で、炊出 し、傾聴、鎮魂と希望のコンサート

日和神社で鎮魂 3月12日 石巻市内 演奏、石巻日日新聞社近江社長あいさ つ、石巻市役所復興激励演奏、石巻市 内5か所の仮設団地慰問、かめ七で商 店街復興激励コンサート

牡鹿半島·十八成浜老人憩 3月13日 いの家で炊き出しとコンサート、鮎川 浜復興商店街、小渕浜仮設団地(民宿 めぐろ) 慰問コンサート、女川経由大 川小学校で慰霊と浦川治造さんによる カムイノミ

3月14日末明 帰宅 と復興を祈る慰問ツア



ウィグルの音楽家 アブドセミ・アブロラフマンさんの話 私は「鎮魂」と「希望」の慰問コンサートに出演者として参加し石巻港を望む日和神社でウイグルの名曲「心の響き」を演奏しました。実は昨年5月21日、22日に、私はウイグル人の仲間と一度石巻にボランティアで訪ねていました。今回の大震災では石巻を含めたくさんの人が亡くなり、その人たちを鎮魂する為に、私達に何が出来るのでしょう?「演奏で支援活動をしょう」と考えました。今回のツアーに参加でき、直接被災者の方とお話をすることもできました。仮設住宅に住んでいる方々が集まり、お話をしたり、楽器を演奏したりと、談笑できるスペースをつくり、楽しく時間を過ごしました。多くの被災者から「音楽を聴いて、元気をもらった、ありがとう」など、音楽が被災者の心に響いた活動でした。ボランティア活動を続けている後藤文吾さんと現地で自ら被災された阿部美津夫さんらのご案内で、これまで訪ねることができなかった被災地、仮設住宅などを訪問できました。後藤さん、阿部さんと今回ツアーの多くの協力者に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



アジアの第一級のミュージシャンが 愛川町のまちづくりに協力、ボランティアで出演!!

和太鼓の研修がつないだ愛川町とロシア連邦・サハ共和国との国際交流

和太鼓の研修で来日 サハ児童太鼓グループ 「テティム」

音楽芸術の真髄、シベリアン エコー。未来を子どもに託し



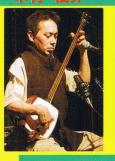
白い太陽の国 から愛川町へ

元「鼓童」。世界が認 める和太鼓奏者

第2回ADD三味線コン テスト(弘前) グランプリ

世界馬頭琴コンクー







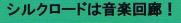




ヒマラヤ・ネパールの竹笛(バンスリ)の天才

ラマ(左)祖国に小学校を建設、子どもたち を支援。弟のサラバン ラマ(右)は「目にも止まらぬ指 さばき」でタブラを演奏する。

ロック界からアジアの音楽に帰ってきた最高のギター伴奏。



シルクロード音楽キャラバンが愛川町から始まる!



主催:「愛川町シルクロードのまちづくり実行委員会」(愛称愛川町シルクロードクラブ)

共催 : 神奈川県立愛川高校 財団法人繊維産業会

後援 : 愛川町教育委員会 愛川町立小学校校長会・中学校校長会

協力 : 愛川高校和太鼓部 愛川自然観察会 半原まつり研究会・清流太鼓 ハトラエフ夫妻 金子竜太郎 パンチャラマ サラバンラマ ライハスロー 木村俊介

> イーグル・アフガン復興協会 富川エンタープライズ ビジネス旅館愛川魚苑 山一撚糸グループ

企画制作: NPO法人ユーラシアンクラブ・愛川サライ

日時:8月5日(木)開場午後2時

開演午後2時半

場所:愛川町文化会館

チケット:大人2000円(前売り1500円)

小中高生無料(先着250名限定)

申込方法は裏面ご参照

問い合せ先

NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ

住所:愛川町中津6314-1

電話/Fax046-285-4895

090-3814-5322(大野遼)

paf02266@nifty.ne.jp

ジアの時

一慰問チャリティコンサー

日時:8月12日(金)開場午後2時

開演午後2時半

場所:愛川町文化会館

チケット:大人2500円(前売り2000円)

小中高生無料(先着250名限定)

申込方法は裏面ご参照

問い合せ先

NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ

住所:愛川町中津6314-1

電話/Fax046-285-4895

090-3814-5322(大野遼)

paf02266@nifty.ne.jp

中津川弁才天第2回愛川町音楽祭

音楽の森・ペルシャから来た 音楽遊行者 ダルヴィシュ シャーサボリ・ハミド

近世アジアの音楽史はモ ンゴル時代(元)が源流 世界馬頭琴協会理事長 アヨシ・バトエルデネ



增獅子舞

東京藝大音楽学部助手

アブドセミ・

アブドラフマン ウィグル古典音楽 12ムカム専門家→



٥J

から被災地に

アジアの心と音楽を届け

よ

の 慰 問

客席で

都山流尺八の頂点 全国チャンピオン

橋本岳人山



篠笛の名手

楽器を

持って参加!



中 津 Ш 0 地 下 洞 窟







↑西洋楽器フルートの起源

ヒマラヤ・ネパールの竹笛(バンスリ)の天才

パンチャ ラマ(左)祖国に小学校を建設、子どもたちを支 援。弟のサラバン ラマ(右)は「目にも止まらぬ指さばき」 でタブラを演奏する。

ロック界からアジア音楽に帰還した最高のギタリスト→ シルクロードは音楽回廊・「笛」は地域とアジアの絆

伝統の継承は人材の継承

篠笛・尺八教室募集中!オープニングで演奏

主催・企画制作: NPOユーラシアンクラブ・ 協力: 三增獅子舞保存会 神奈川県立 まちづくりネットワーク中津川(準備会) 財団法人 サークル愛川自然 中津川仙台下クラブ パンチャラマ サラバンラマ 河西堅 木村俊介 アヨシ・バトエルデネ シャーサボリ・ハミド イーグル・アフガン復興協会 モンゴル・ブフ・クラブ ○この事業は平成23年度あいかわ町民活動応援事業





音楽キ



シャオロン(SP 会)↓ 世界の舞台で活躍する中国琵琶奏者



万里の侵城杯・特別賞

二胡奏者 干ュネ(春惠

ップミュージシャンG人による音楽の祭典 愛」ハい町文化会館大ホール 8月19日(日)午後3時半開場4時開演

笛の神クリシュナ

ヒマラヤの風を音楽にした

竹田 弘樹



開演午後4時

場所:愛川町文化会館

チケット:大人2500円(前売り2000円)

小中高生無料(先着250名限定)

申込方法は裏面ご参照

問い合せ先

NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ

住所:愛川町中津6314-1

電話/046-285-4895

Fax/046-265-0167

090-3814-5322(大野遼)

paf02266@nifty.ne.jp







↑ 篠笛・フルートの起源ヒマラヤ・ネパールの竹笛(バンスリ)の天才 パンチャ ラマ(左)祖国に小学校を建設、子どもたちを支援。弟の サラバン ラマ(右)は「目にも止まらぬ指さばき」でタブラを演奏する。

オープニング演奏に参加する児童・生徒を募集します!

主催・企画制作 : NPOユーラシアンクラブ・愛川サライ協力 : まちづくりネットワーク中津川 財団法人繊維産業会中津川仙台下クラブ サークル愛川自然観察会 ひまわり会 五七五の教室

イーグル・アフガン復興協会 モンゴル・ブフ・クラブ カムイ・ミンタラ ○ この事業は平成24年度あいかわ町民活動応援事業に採用されています。

